

福島を脱出 信州へ

南相馬市民103人 飯伊に

飯田市用意のバス5台で

【飯田市】南相馬市から避難してきた市民約100人が、17日午後10時30分、飯田市で飯伊バス5台に乗り込み、飯伊地区へ避難した。市民約100人は、飯伊地区へ避難した。市民約100人は、飯伊地区へ避難した。



福島県南相馬市からバスで飯伊に避難し、避難先を下る市民たち。17日午後10時30分、飯田市で飯伊

飯伊バス5台に乗り込み、飯伊地区へ避難した。市民約100人は、飯伊地区へ避難した。市民約100人は、飯伊地区へ避難した。

飯伊バス5台に乗り込み、飯伊地区へ避難した。市民約100人は、飯伊地区へ避難した。市民約100人は、飯伊地区へ避難した。

信濃毎日新聞 2011年3月18日 3月18日 朝刊

信濃毎日新聞 2011年3月18日 3月18日 朝刊

この新聞は、信濃毎日新聞の発行所から発行されています。印刷は、信濃毎日新聞の印刷所で行われています。

この新聞は、信濃毎日新聞の発行所から発行されています。印刷は、信濃毎日新聞の印刷所で行われています。

この新聞は、信濃毎日新聞の発行所から発行されています。印刷は、信濃毎日新聞の印刷所で行われています。

飯伊に避難 南相馬市民ら



故郷「戻れるのはいつ」

「避難生活の始まりは、想像以上に長い。戻れるのはいつか、という不安が常に頭をよぎる。南相馬市は、福島県内でも最も被害が深刻な地域の一つで、避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

安心と不安入り交じり

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。



避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。避難生活が長期化する中、市民は「戻れるのはいつか」という不安を抱えている。

2011年 平成23年 9月28日 水曜日

市街地市へ帰郷

石川の人に感謝

【本紙記者石川市から】避難先で暮らす避難者の中には、市街地市へ帰郷を希望する者も出てきた。石川市に感謝の意を込めて、市街地市へ帰郷する者も出てきた。

市街地市へ帰郷を希望する者も出てきた。石川市に感謝の意を込めて、市街地市へ帰郷する者も出てきた。

目指される方へ

建設業は、震災以降、雇用も収入も減少傾向にある。建設業は、震災以降、雇用も収入も減少傾向にある。

電話 千330-1566 長野市南馬場
信濃毎日新聞 建設標 編集部
〒166-8502 長野市南馬場
ニュービル 1001号室 026-236-1579

復興支援は優先

【本紙記者石川市から】復興支援は優先。復興支援は優先。復興支援は優先。

福島第1原発半径20キロ圏外5市町村
避難準備区域「解除」へ

来月上旬にも地元が復旧計画

【本紙記者福島県から】福島第1原発半径20キロ圏外5市町村。避難準備区域「解除」へ。来月上旬にも地元が復旧計画。

2011年 平成23年 9月7日 水曜日

2011年 平成23年

9月10日 水曜日

【本紙記者石川市から】建設業は、震災以降、雇用も収入も減少傾向にある。建設業は、震災以降、雇用も収入も減少傾向にある。

南信州

編集長 藤田 隆夫
 編集委員 藤田 隆夫 藤田 隆夫 藤田 隆夫
 編集委員 藤田 隆夫 藤田 隆夫 藤田 隆夫

被災体験つづさに

南相馬 帰郷前に喬木で語る

東大入選の若手記者が、被災地を取材して、被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。

被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。

被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。

被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。



被災地の体験を語る若手記者

南相馬市から100人避難 飯田市と3村で受け入れ



インタビューに応じている家族さん親子

「職員の方の対応が親切」
 「長野県に恩返ししたい」
 ～避難親子が果敢語る～

南相馬市から避難した100人の家族が、飯田市と3つの村で受け入れられている。被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。被災者の体験を伝える。

南 信 州 新 聞

2017年(平成29年)3月9日(金)

